

通木 信もれ日

Komorebi Tsushin

第34号

平成20年10月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達市月舘町下手渡字寺窪7
つきだて花工房 TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
つきだて交流館もりもり TEL024(571)1777 FAX024(571)1787
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)
つきだて花工房ホームページ <http://www.odehime.or.jp/hanakobo/>

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりとやさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

花のアルバム

アルバムの
34ページ

萩の花

秋色に染まった里山が
やわらかな
光のベールに包まれました
遠い日の記憶が
蘇えるような
どこか懐かしい情景は
いつまでも
変わらぬ宝物です
ふるさとの宝物です



萩の花
夢見の郷に続く路で(月舘町、御代田)

弓なりに伸びる枝に、蝶のような優しい花をつけた萩の花が、風にそよぎ静かに咲いていました。秋の日に咲く草花は、どこか控えめな感じます。

草冠に秋と書く萩は、椿や露と同じくわが国で創られた漢字。その字のとおり日本の秋を代表する植物で、古くから日本人に愛されてきました。万葉集で詠まれている数も草花では第二位。当時は萩の花を髪に飾る風習があったようで、搔頭(かんざし)に使った歌も見られます。



山上憶良が詠んだ秋の七草の冒頭を飾る
「萩の花 尾花 葛花 瞿麥の花 女郎花 亦 藤袴 朝顔の花」

萩はマメ科の落葉低木。従来は人々の生活に密着していた植物で、刈り取った茎を垣根や屋根ふき料に、皮を剥いで縄に使用しました。種子は粉にして粥に入れ、葉は乾燥させて茶の代用にされました。また、めまいやのぼせに効果があるとされ、根を掘って乾かしたものを煎じて飲んでいたようです。しかし現在では、観賞用のほか、砂防用として堤防や斜面に植栽されています。

ほどほどが肝心です。

山を歩いていると、ふと「呼ばれる」ことがあります。もう少し正確に言うとう、存在が主張するといつてもいいかもしれません。もちろん、耳に聞こえるわけではありません。「！」という感じで、思わず目がいつてしまうものとは、きのこ。お盆を過ぎると山はきのこたちが賑わいます。

先日、山で呼ばれた「それ」は、まるで爬虫類の卵殻を突き破って生まれたよう。色はイタリアのスポーツカーを彷彿とさせる赤。触らずとも指先がその感触を感じることのできる、ヌメヌメとしたツヤに覆われて。そのきのこは「タマゴタケ」。ずつと出会ってみたかった「憧れの」きのこは、こんなに身近にいました。

その色からして敬遠したくなるようなきのこですが、旨味成分が豊富でとてもおいしいとか。そのときはあいにくの大雨で、傘で手が塞がっていたこともあり、採取はあきらめました。是非その味も楽しんでみたいもの。

それにしても、きのこに限らず、山菜・野草も採りすぎは禁物。自然の恵みはみんな(未来の誰かも含む)で分かち合うもの。山に入るときには「自制心」もお忘れなく。



祝 福の時間

黛様(千葉県白井市) 還暦祝い

「いくよあーちゃん、おめでとう！」と愛らしいお孫さんの声が響きます。アットホームな雰囲気の中、黛いく代さんの還暦のお祝いが行なわれました。サプライズケーキの登場、お祝いの歌の数々…みんなの心から、大きな喜びと、これからの力をもらった「いくよあーちゃん」は、終始笑顔で過ごされていました。※黛様ご夫婦は、月館と千葉県白井市を結ぶ少年交流事業「つきだて・しろいであそばね会」のお世話をしてくださっています。



高野様(川俣町) 御百日祝い

果倫ちゃんのお食い初めを家族で祝いました。28号に桃の節句のお祝いで登場してくれた柚乃ちゃんも、もうすっかりお姉ちゃんです。愛らしいお名前どおり、ご姉妹の明るく健やかな成長をお祈りいたします。また、元気なお顔を見せてください。



動から静へ
ふるさと 薄紅色に染まり始める

連日の空から降り注ぐ強い日差しと、突然の大粒の雨に見舞われた今夏。そんな「動」の夏が終わって一ヶ月。ここ、ふるさと花工房は、さわやかな秋風に乗って道端の花穂をつけたススキは揺られ、赤トンボがその先に羽を休めて遠くを見つめる、何ともゆったりとした「静」の時間が流れ始めています。秋染まりつつある今日この頃。みなさまはいかがお過ごしでしょうか？

も り も り 夏 体験!!

この夏も交流館もりもりは、各地の子供会様から多くのご利用をいただき、子供たちが「ピザ焼き」や「流しそうめん」に楽しい夏の思い出を作りました。



大柳育成会様(伊達市) もりもりピザ焼き

小麦粉をこねて作ったピザ生地、トマトやズッキーニなどの畑から収穫した夏野菜をトッピングしたものを、自分たちで起こした炭火で焼いて作りました。焼きたてアツアツのピザを子供たちは口いっぱいにはおぼって美味しく食べました。



西原子ども会様(福島市) 竹の流しそうめん

まずは竹林から竹を切り出して流しそうめん用の樋や器、箸を作りました。そのオリジナルのマイ食器を手に、流れてくるそうめんに子供たちは歓声を上げながら楽しく食べました。



ポニョが見守ります!

下手渡公民館に夜、明かりが灯ると、地域のみなさんが時間を割いて案山子づくりに精を出していました。人気映画「崖の上のポニョ」の主人公をモチーフに作られた案山子が、めでたく交通安全かかしコンクールで銀賞を受賞。他に製作された2基もアイデア賞、努力賞を獲得し、うれしいトリプル受賞!知恵を出し合った仲間が揃い、喜びの笑顔で懇親会が行なわれました。製作された案山子は道行くドライバーや歩行者に交通安全を呼びかけています。



交通安全協会、上手渡・下手渡班のみなさま

ご案内

●宿泊…1泊2食6,500円～(一部室にお入りになる人数によって料金が変わります) チェックイン16時・アウト10時 ●日帰り入浴(ハーブのお風呂)…10時から18時(大人300円、小学生150円) ●ランチ営業…11時30分～13時30分(平日限定のHANAランチ、デザート付800円がオススメ) ●交流館もりもり…9時～17時(田舎体験、地産品の直売) ※年末年始の営業…12/30は18時で閉館、12/31・1/1は入浴のみ営業(10時～18時)、1/2からは通常営業となります。

晩秋に贈る 小さな朗読会 #7

2008
11/18 火

演出 島岡安芸和 音楽 古後 公隆

朗読:島岡安芸和
演奏:古後公隆(チェロ) 日ノ下慶二(ピアノ)
ステージング:松永さち代
民話の朗読:つきだて花工房リーディングアラウドの会

僕らは祈った。
4人の輝くような時間を取り戻したくて…。

昼・夜
2回公演

昼の部 14時開場 15時開演 夜の部 18時開場 19時開演

つきだて花工房
ロビー特設ステージ
料金: 1,000円

チケット予約・発売
10月1日(水)から
お問い合わせ・チケット販売
つきだて花工房
TEL 024-573-3888

作品

約束

村山 由佳
集英社刊 画:はまのゆか

今年の作品は、小説すばる新人賞や直木賞など、数々の賞を受賞している著者の、はじめての短編小説です。昭和61年、秋から冬にかけて10歳の少年たちに起こった、忘れがたい「約束」をめぐる物語。懐かしさや切なさが作品全体に流れていて、最後には心がホッと温かくなります。忘れかけていた幼い日の出来事や、約束が、心に蘇ってくるかもしれません。朗読と音楽のコラボレーションで、今年も島岡ワールドをじっくりとお楽しみいただきます。

古後公隆

Kimitaka Kogo



京都府出身・オーケストラ、ビッグバンドなど大編成の作編曲から、ダンスミュージック、ポップソングの製作まで幅広いジャンルを網羅し高い評価を得ている。つきだて花工房での朗読会でも数々のオリジナル曲が誕生している。

日ノ下慶二

Keiji Hinoshita



京都府出身・2004年より音楽活動を本格化。クラシックピアニストのような繊細な音使いとタッチが多く、ファンに共感を呼んでいる。つきだて花工房での演奏は3回目となる

島岡安芸和

Akito Shimaoka



かっぱハウスプロデュース代表。
劇団青年座研究所、劇団夢の遊眠社を経て森本レオに師事。大沢事務所所属
舞台、映画、TV、ナレーションと幅広く活躍中。つきだて花工房「リーディングアラウドの会」特別講師

「木もれ日通信をご覧のみなさん、こんにちは。1年が経つのはあっという間ですね。今年の朗読会は2回公演、さらに、つきだて花工房では初の短編小説の朗読に挑みます。強力な演奏者2人を引き連れて、みなさんのご期待に叶う朗読会をお贈りしたいと思っています。そして、つきだて花工房「リーディングアラウドの会」による朗読は、今までと趣向を変えて、東北の民話を4作。あわせてお楽しみください。」

松永さち代

Sachiyo Matsunaga



かっぱハウスプロデュース所属。
84年、劇団四季キャッツオーディション合格。ランペルティエザ役でデビュー。「キャッツ」「コーラスライン」「李香蘭」「クレージーフォーユー」「ライオンキング」他。退団後、羽鳥塾ミュージカルクラスダンス講師、静岡SBS学苑ダンス講師。

お客様の声



●連載となっている「KenちゃんがいいたFurusato no Konichi」楽しみです。33号では実家のある御代田でした。軽便鉄道の話は住んでいたのに知らない情報で、祖父母にも聞いた事がありませんでした。心に残る話をありがとうございます！次回も楽しみにしています

(月館町・渡辺かね子様)

●先日はバースデーコンサートおめでとうございました。素晴らしい音色に陶酔でき、また、ハーブの湯にも入ることができ、満喫することができました。今回は一人でしたが次回は主人と伺いたいと思います。(福島市・関光江様)

●花 お楽しみだけだったようでうれしく思います。秋は二日二日深まってゆきます。心に染みる季節にはいいお話がびつたり。「晩秋に贈る朗読会」にも、ぜひお出かけください。

木もれ日34号プレゼント

月館産新米コシヒカリ(3kg)を3名様にプレゼント。

官製はがきに住所・氏名・年齢と木もれ日34号で印象に残った記事及び感想等をご記入の上、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送りください。平成20年11月30日の消印まで有効です。

(ご記入いただいた個人情報はつきだて花工房が責任をもって管理・保管し、当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために利用させていただきます)

編集後記

先月末、宮城県秋保にありますが農家の方が経営するレストランに行ってきました。そこは30年前から無農薬野菜の栽培に取り組み、肉・魚を一切使わずにそこで採れた野菜だけで料理を提供しております。炒め物、蒸し物、揚げ物に料理された野菜料理の一品品はその素材さと香りを残したまま、それを噛み締めるたびに生産者の愛情や大地の味がじわじわと口の中に染み出てくるように忘れられないものでした。某お菓子の名前と聞き間違ひ、「このポリンキーって美味いんですね」と、真顔でオーナーに言っ苦笑され、恥ずかしながら初めて口にした「コリンキー」の食感などなど…。

4月から「木もれ日通信」編集部には仲間入りしました。オリジナルな花工房の味、編集者の味を「頭を抱えながら」楽しく上手に料理して、みなさまにお届けしていきたいと思っております。(広貴)



コリンキー(うり科)

ムーン
セラー
月の明かりで疲れた
心を癒したい。
いまずかカレンダーにチェック!!

【満月の夜】 10月15日(水) 11月13日(木)
12月13日(土)

【新月の夜】 10月29日(水) 11月28日(金)
12月27日(土)

●三大珍味 トリュフ キャビア フォアグラ

木もれ日通信34号
読者プレゼント
応募券